

## 社会福祉法人における統合情報システムの構築

4 T-9

-社会福祉法人桑の実会を事例として-

江藤香\*, 桑原哲也†, 三田篤‡, 松田郁夫\*

\*日本工業大学, †社会福祉法人桑の実会, ‡アルファシステムズデザイン

### 1. はじめに

日本の人口の高齢化は急速なスピードで進行している。21世紀には老年人口比率が25%を超える超高齢社会となる。高齢社会の到来にともなって国民の福祉に対するニーズは保健・福祉・医療・生きがい・生活支援など、多様化、高度化しつつ増大してきている。このような総合的な高齢者福祉に対応するには人と人のふれあいや個々のコミュニケーションを可能にする情報ネットワークの構築がその問題解決に重要な役割を担う手段と考えられる。そこでわれわれは社会福祉法人における事務処理から業務支援、入所から退所、そして老人保健施設から保育園までをネットワークを介して、共用データベースを駆使した統合情報システムを構築した。

### 2. 情報化の現状とその問題点

社会福祉法人における情報化は製造業や金融業など他の産業に比べると少し遅れている。現状はつぎの4つに類別できる。①コンピュータは導入されているが一部門である。②幾つかの部門に導入されていても個々独立に利用されている。③導入されても機能の一部しか利用されていない。④利用の状態は行政への提出書類の作成ツールとしてが多い。特にネットワーク化が遅れている。

Development of Integrated Information System for Social Welfare Nonprofit Organization

Example of KUWANOMI Social Welfare N.P.O.  
Kaoru ETO\*, Tetsuya KUWAHARA†, Atsushi MITA‡, Ikuo MATSUDA\*

\*Nippon Institute of Technology

†Kuwanomi Social Welfare N.P.O.

‡Alpha Systems Design

### 3. 情報化遅延の原因

情報化が遅れている原因は非営利組織では成果や結果を重視しない傾向があるためと考えられる。つまり、生産性や効率化が積極的に組織の中で図られなかったのが重要な原因と思われる。具体的な原因としては①人員が限られている(コンピュータを操作できる)、②スタンドアロン型のシステムが導入されていて、適用範囲が限定されている。③パッケージ・ソフトのためにジャスト・フィットされていないため、使いにくい。④導入時の教育が不十分なため、利用できる機能が限られる。が考えられる。これらが直接、間接に更なる情報化を妨げる原因である。

### 4. 問題に対する解決策

上述した情報化への問題を解決するには非営利組織にジャスト・フィットした利用し易い、真に有用な情報システムを構築することである。具体策としては①ネットワークを介したデータベースの共用による情報の統合化、②徹底した要求分析に基づいたシステムの構築、③フレンドリーなユーザインタフェースによる操作性の向上、が挙げられる。

### 5. システムの概要

図1に統合情報システムの構成を示す。縦軸は事務処理から業務支援までの支援内容を示す。横軸は各施設、医療機関や行政を横断的にネットワークで接続させることを想定した。将来は介護支援センターからパソコン通信やインターネットを通じて介護支援や子育て支援の情報を発信し、地域福祉サービスの充実を図る。

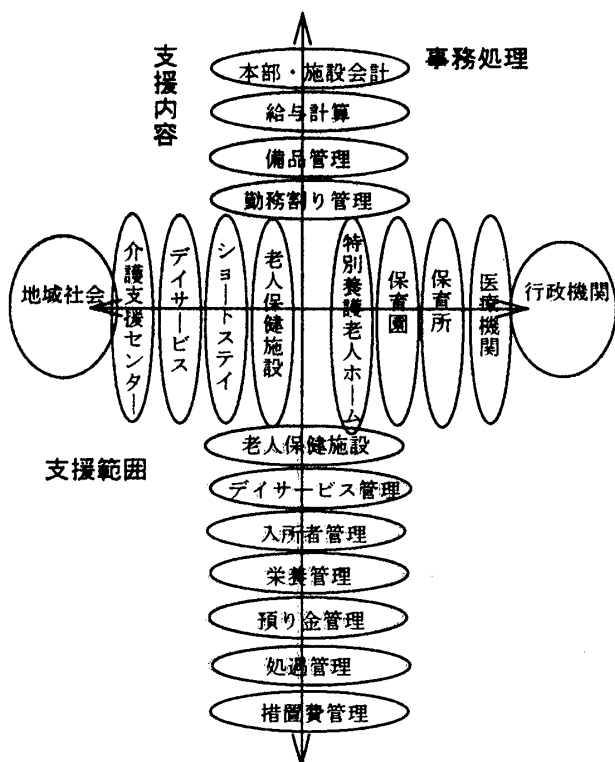


図1 統合情報システムの構成図

## 6. 機能概要

問題解決には以下の機能が必要である。

- ①ネットワークの構築（PC LAN）：LANtastic V6によるクライアントサーバー型（サーバー1台，クライアント8台）
- ②共用データベースの構築：他のデータベースのデータとの互換が可能なものAccess1.1a
- ③汎用性の高いOSを利用：機種に依存しない互換性に優れているMS-Windows3.1
- ④GUI（Graphical User Interface）の構築：MS-Windows3.1によるマルチウインドウ，メニュー，アイコン，マウス

## 7. ソフトウェアの構成

ソフトウェアを大きく分けると事務処理システムと業務支援システムの2つになる。データベースとアプリケーションプログラムはデータベース用言語&ツールであるAccess1.1aを用い

て構築されている。

### 1) データベース

#### ①事務処理用データベース

本部会計，施設会計，職員給与，職員勤務割り，備品

#### ②業務支援用データベース

療養者，利用者，家族，施設，栄養

### 2) アプリケーションプログラム

#### ①事務処理システム

本部・施設会計，給与計算，勤務割り管理，備品管理

#### ②業務支援システム

老人保健施設，栄養管理，入所者管理，措置費管理，預り金管理，保育管理  
 デイサービス管理，処遇管理

## 8. おわりに

複合施設間の情報をデジタル化することで生産性，サービスの質の向上を実現した。具体的にはデータベースへのアクセスにより全施設の予約状況が瞬時に把握でき各施設で予約が可能となった。また，入所から退所までの個人の情報をデータベース化することで措置請求書作成が飛躍的に速くなった。全体としてネットワークを介することで情報の断絶がなくなり，業務のスムーズな流れが確立できた。

## 参考文献

- 1) P.F.ドラッカー著，上田惇生，田代正美訳：「非営利組織の経営」，ダイヤモンド社（1991）
- 2) 佐藤栄一：「Accessスタンダードプログラミング」，オーム社（1994）
- 3) G.Gagliardi著，オープンシステム研究所監訳，森 淳訳：「クライアント/サーバーダウンサイジング」，オーム社（1993）